

日本語教育

概要	日本の国際化にともない世界中で日本語を学ぶ外国人が増えており、日本の国内外で外国人に対する日本語教育の需要が高まっています。本副専攻は、日本語教育副専攻に相当する資格の取得を目指すものです。
対象	すべての学生
修了要件	63科目(64科目)中より26単位以上修得すること。

科目名	開講学類	単位数	修了要件内訳	備考	
現代日本の文化と社会	人間社会学域	1			
国際学入門1		1		必修	
国際学入門2		1		必修	
国際協力論1		1			
国際協力論2		1			
日本文化1		1		必修	
日本文化2		1		必修	
日本史概説1		1	「社会・文化・地域」 15科目中より 4単位以上		
日本史概説2		1			
日本経済論		2			
日本の古典文学		2			
日本の文学1		1			
日本の文学2		1			
日本文化体験A		2			
日本文化体験B		2			
社会言語学1		1			必修
社会言語学2		1			必修
国際コミュニケーション論	国際学類	2			
(国際コミュニケーション論1)		(1)		※1	※1
(国際コミュニケーション論2)		(1)		※1	※1
現代中国論A1		1		「言語と社会」 12科目(13科目)中より 4単位以上	
現代中国論A2		1			
現代中国論B1		1			
現代中国論B2		1			
東アジア国際交流史1		1			
東アジア国際交流史2		1			
米英言語思想論		2			
現代ヨーロッパ社会論1		1			
現代ヨーロッパ社会論2		1			
異文化理解1		1	「言語と心理」 5科目中より 2単位以上		
異文化理解2		1			
第二言語習得論1		1			
第二言語習得論2		1			
発達と学習の心理		2			

日本語教育

概要	日本の国際化にともない世界中で日本語を学ぶ外国人が増えており、日本の国内外で外国人に対する日本語教育の需要が高まっています。本副専攻は、日本語教育副専攻に相当する資格の取得を目指すものです。
対象	すべての学生
修了要件	63科目(64科目)中より26単位以上修得すること。

科目名	開講学類	単位数	修了要件内訳	備考	
日本語教育学基礎1		1	「言語と教育」 13科目中より 8単位以上	必修	
日本語教育学基礎2		1		必修	
日本語教科書研究1		1		必修	
日本語教科書研究2		1		必修	
日本語教授法A1		1		必修	
日本語教授法A2		1		必修	
日本語教授法B1		1		必修	
日本語教授法B2		1		必修	
日本語教育とコンピュータ1		1			
日本語教育とコンピュータ2		1			
日本語教育評価法1		2			
日本語教育史1		1			
日本語教育史2		1			
日本語学概論A1		国際学類	1	「言語」 18科目中より 8単位以上	必修
日本語学概論A2			1		必修
日本語学概論B1			1		必修
日本語学概論B2			1		必修
日本語の文字・表記1			1		
日本語の文字・表記2			1		
日本語の語彙・意味1			1		
日本語の語彙・意味2			1		
日本語史A			2		
日本語史B1			1		
日本語史B2	1				
日本語文法A1	1		必修		
日本語文法A2	1		必修		
日本語文法B1	1				
日本語文法B2	1				
音声学1	1		必修		
音声学2	1		必修		
対照言語学	2				

※以上のカリキュラムは、2000(平成12)年3月に文化庁・日本語教員の養成に関する調査協力者会議報告「日本語教育のための教員養成について」で示された「日本語教員養成において必要とされる教育内容」に準拠しています。また、副専攻資格の総単位数26単位は、文部省が1988(昭和63)年に発表した「日本語教育施設の運営に関する基準について」の「2. 大学(短期大学を除く)において日本語教育に関する科目を26単位以上修得し(副専攻)、卒業した者」の単位数に準拠したものです。

注)「言語と教育」の科目区分については、「日本語教授法A1・A2」の履修前に「日本語教育学基礎1・2」を履修済であること、また、「日本語教授法B1・B2」を履修する場合には、「日本語教育学基礎1・2」、「日本語教科書研究1・2」、「日本語教授法A1・A2」を履修済であることを原則とします。「日本語教育実習A」「日本語教育実習B」については、原則として主専攻資格取得予定者のみが履修できる(副専攻の学生は原則履修できない)ので注意してください。

※1 国際学類で「社会」(中学)、「公民」(高校)の教員免許取得を目指す学生のみ履修、他の学生は「国際コミュニケーション論」を履修してください。